

事業所名

おーじやん富士見が丘

支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		<p>すべての人が自分らしく活躍できる社会の実現を目指して</p> <p>人を愛し 家族を愛し 地域を愛し 勇気を持って挑戦する心</p>						
支援方針		<p>○一人ひとりの特性を理解し生かせるように支援し、社会で自分らしく活躍できる場面を増やす。 ・一人ひとりの発達段階や特性を理解し、それぞれに適した環境調整を行い、特性を生かせるように支援する。 ・お子様自身が「落ち着く、ほっとする」といったポジティブな気持ちが生まれたり、ネガティブなことから守られるといったお子様が安心・安全と感じられる環境の提供を行い、お子様自身が主体となって活動が行えるようにしていきます。</p> <p>○「できた！」という気持ちを大切に、どんなことにも挑戦したいという気持ちを育むことで、お子様が心身ともに成長するように支援をする。 ・お子様のしたい！ やりたい！ といった気持ちを尊重し、活動中での困り感をしっかりと分析し、お子様にとって適切な支援や配慮によって「できた！」と感じ楽しめるように提供します。 ・得意な活動や好きな活動をお子様自身が自己選択・自己決定し、成功体験や達成感を通して『やってよかった！』と思える活動の提供をします。</p> <p>○お子様・ご家族にとって、生活上での困りごとや苦手が減り、お子様とご家族の笑顔が増えるような取り組みを行う。 ・ご家族の思いに寄り添い、共にお子様の成長をサポートしていきます。また、事業所での様子を共有し、ご家族の悩みが解決の糸口になるように共有していきます。</p>						
営業時間		平日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		土曜日 長期休暇中	9 時	0 分から	18 時	0 分まで		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に応じた視覚支援を用意し、来所時、降所時のルーティンが自立して行えるように支援する。 ・視覚支援、スケジュールボード、タイマーなどを用いて、見通しを持って活動が行える力を養う。 ・事前に伝える。代替案を提案する。納得のいく説明をする。といったことを積み重ね、予定変更に対応できる力を養う。 ・好きなことから興味の幅を広げ、余暇の充実を図る。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚に対するアセスメントを行い、特性の理解をする。 ・感覚過敏の傾向があるお子様にはイヤーマフやパーテーションなど環境調整をし、苦手な感覚に配慮をする。 ・感覚探求の傾向があるお子様には、感覚の欲求が満足する活動（ブランコの揺れる感覚や粘土を触る感覚など）を通し、その後の活動に集中できるように支援する。 ・くぐる、跨ぐ、片足立ちといった個々の運動課題にあった活動を通し、バランス能力やボディイメージが成長でき、体の使いこなしが上手にできたり、人との距離感がつかめるように支援をする。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の行動観察を行い、場面にそぐわない行動に対し、その行動が減るように支援し、同時に正しい行動を考え支援する。 ・ソーシャル・スキル・トレーニングを用いて場面にあう言動を解説したりわかりやすく伝えることで他者への理解を促す。 ・棒人間やイラストなど視覚支援による状況理解の促し。 ・活動の優先順位や時間の管理を考え、計画する力を養う。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カード交換によるコミュニケーションのやりとりをする中で言葉の表出を促す支援をする。 ・話す言葉や理解できる言葉にあう会話を支援員や子ども同士で行うことで会話を楽にするように支援する。 ・視覚的に活動の選択肢を提示し、自己決定が表出できるように支援する。 						
人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様それぞれの遊び方を観察し、遊びの発達に合わせた遊びを提供をする。また、支援員が間に入りながら、遊びの発達段階を促すように支援する。 ・一つの目標に対し協力して遊ぶことを通して、人との関わりを増やす遊びの提供をする。 ・ルールのある遊びを行い、勝ち負けを理解し楽しむ。また、負けたけど楽しかった、あの場面が惜しかったからもう一度したい！と感じるように支援を行う。 ・小集団での遊びを通し、お友達の気持ちや自分の気持ち、自分の苦手なことが分かるように促す。 ・ポジティブな気持ちを作れたり、ネガティブな気持ちをポジティブな気持ちに変えられるような環境設定や支援員との関わりをし、安心安全に過ごせるような支援をする。 ・支援員がお子様のやりたい活動を誘い、主体的に取り組むことを積み重ね、この人ならわかってきていると感じるような、人との関わりを通した支援を行う。 							
家族支援	日々の送迎時に児童の状況の共有、悩み事や相談事のヒヤリング。モニタリング時の面談、ご家族が参加できるイベントの実施	移行支援	学校や相談支援事業所、家庭と連携できる体制の整備。保護者からの進学相談や、自力通学練習への対応。					
地域支援・地域連携	地域の行事に参加、同地域の施設間交流等、自立支援協議会への参加、法人の実施する発達障害への理解を深める研修会の実施	職員の質の向上	研修制度の整備(職場内教育(OJT))、職場内研修・公開研修、社外研修(業務命令として受講するもの)、社外研修(自身が自己研鑽の一環として受講するもの)を整理して制度を明確化。本人の求めや業務に応じた受講する。					